

青年部報

平成24年3月26日
発行：北九州市
私立保育園連盟
青年部会
発行人：山本 博文
編集人：鷲峰 康尚
橋原 法道

《青年部会 部長挨拶》

山本 博文(別所保育園)

昨年三月十一日の未曾有の東日本大震災以降、新たな再生と復興へ向かって国民全体が「強い意思」のもと「絆」という人と人との営みによって支え合い、個人や組織がそれぞれの立場で考え行動していく必要性を誰しもが感じるなか、私たち青年部会としても日々の活動ひとつひとつに真摯に取り組んで行きたいと考え活動してまいりました。

そして平成二十三年度の青年部会では、各団体研修会への参加、青年部会主催研修会・部内研修の開催など研鑽を重ねてまいりました。

更には、部内で各専門部会を立ち上げ、(企画部会・研修部会・調査研究部会・広報部会)部会ごとに活発な活動をしており、平成二十四年度からは北九州市私立保育園連盟の各専門委員会と連携を図りながら、部員相互に研鑽を重ねてまいります。

また、平成二十四年度は青年部会発足以来二十年の節目を迎え、記念事業の取り組みも計画しております。



今後私たち青年部会は、「子どもの視点」を念頭に北九州市私立保育園連盟、各団体との連携を図りながら、積極的な活動に務めてまいりますので、今後ともご指導をお願いしますと共にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

《活動報告》

年数回	毎月	《活動予定》	例会 研修会
		十月十三日	第三十一回全国私立保育園連盟青年会議 京都大会事前訪問(打ち合わせ会)
		十月十七日 ～十八日	全国私立保育園連盟青年会議 企画部会施設見学・研修会 青年部会主催研修会 「人材育成のためのスーパージョン」
		十一月三日	第四十九回北九州市保育研修大会
		十一月十日	第十三回全国私立保育園連盟青年会議
		十一月十一日 ～十一月十七日 ～十八日	九州ブロック 宮崎大会 第三十回九州私立保育園研究大会 北九州大会
		十一月二十四日 ～二十五日	全国私立保育園連盟青年会議 第三回幹事会・研修会 保育課との勉強会
		十二月二十日	青年部会主催研修会
		一月十九日	「カプラーワークショップ研修会」
		二月四日	青年部会 部内研修会「新システムについて」 青年部会OBとの懇親会
		二月十六日 ～十七日	第三十一回全国私立保育園連盟青年会議 京都大会
		三月二日	全国私立保育園連盟青年会議 第四回幹事会
		三月三日	全国私立保育園連盟青年会議 第七回特別セミナー
		三月七日	青年部会部内研修 「仕事でも家でも頼られる男になる！」 平成二十四年度予算総会

【人材育成のためのスーパービジョン】

〔日 程〕平成二十三年十月二十八日

〔場 所〕レインボープラザ七階会議室

〔講師〕田園調布学園大学 非常勤講師 山本博之 先生

〔内 容〕保育士の人材育成についての講演・演習

近年、保育士の人材確保が困難な状況が続いています。様々な要因がある中で、私たち青年部会では保育士の人材育成に着目し、研修会を行いました。

今回の研修では講師に田園調布学園大学非常勤講師山本博之先生を迎え、人材育成のためのスーパービジョンというテーマで、前半は講義を行って頂きました。その中で、スーパービジョンの機能、目的のポイントを学びました。後半は園長グループ、主任保育士グループ、保育士グループに分かれ、保育士に求められるものをテーマに各グループ毎に書き出し討議しました。各グループで保育士という職業に求めている事が異なり、各グループの意見を聞く事が出来、大変意義深い研修になりました。



保育士の人材確保の為、更なる研修会を行い、充実した保育士のもとで健全な子どもたちが育つよう勉強していききたいと思います。

浅川保育園 上原剛

【全国私立保育園連盟青年会議九州ブロック宮崎大会】

〔日 程〕平成二十三年十一月十日・十一日

〔場 所〕宮崎県宮崎市

平成二十三年十一月十日・十一日、宮崎市において第十三回全国私立保育園連盟青年会議九州ブロック大会宮崎が開催され、九州各地から百七名の青年保育者が参加しました。初日は、プロバスケットボールチーム・宮崎シャイニングサンズのヘッドコーチ遠山向人氏による「人を育てる力」シーズンを通しての監督・コーチの役割」と題した講演がありました。

遠山氏は、これまでの人生を振り返り、中学生の頃に憧れの監督と出会った感激やその監督の厳しさに触れたこと、大学進学にあたって厳しい道を選ばず逃げた進路を選択し後悔したことなどを、ユーモアを交えながら話されました。

私が一番印象に残ったのは、チームが開幕から四連敗を喫しチーム全体が重い雰囲気になった時の話です。その時遠山氏は、「勇気だ。失敗を恐れずプレーしよう」と声を掛け、選手にも事あるごとに「勇気だ」と声を発するよう指導したそうです。チームメイトが口々に「勇気」と声を出すことによって、それまで萎縮していたプレーがのびのびとして、連敗を止めることに繋がったそうで、目標や目指しているものを声に出すことの大切さを

改めて感じました。

続いて、同チームのトレーナー上原雅也氏の指導で、「子どもの怪我の予防・ストレッツ法」と題した実技講習があり、外遊びの前に行うと良い簡単な遊びながらのストレッツを体験しました。また、はしご状のロープを使い、スピードや俊敏性を高めるトレーニングも紹介していただきました。ロープをジグザグに細かく走り抜けたりするこのトレーニング方法は、遊びの要素も多く含んでいて、保育園でも、園庭にはしご状に線を引くだけで、手軽に楽しみなながら神経系の成長を促すことが出来ると思いました。

二日目は、宮崎科学技術館において、科学体験研修と工作体験研修でした。シャボン玉や空気砲の実験、風船ロケット等の製作を行いました。いずれも身近にある材料を使ったものばかりで、参加者も童心に帰り、目を輝かせながら真剣に取り組んでいました。



私たちは童心に帰るということは、保育において大切な「子どもの視点で」ということにもつながる大切なことではないかと感じました。この二日間の研修で学んだことを今後の保育に活かしていきたいと思っています。

三郎丸保育園 鷹取和教

【九州私立保育園研究大会 北九州大会】

（日程）平成二十三年十一月十七日～十八日
（場所）リーガロイヤルホテル小倉

十一月十七日～十八日、北九州市において九州私立保育園研究大会・北九州大会が開催されました。

青年部会も前日の準備より参加させていただき、当日の朝は、会場への誘導、受付の手伝い、各分科会会場のモニター設置等を行い、分科会開始後も各分科会でお手伝いや参加者のお弁当準備等を行いました。

夕刻になり、懇親会の席では、バナナのたたき売りに参加する各県参加団体代表者のプラカード持ちをするなど、影のサポートをさせていただきました。



二日目は、会場への誘導、会場内の案内、配付物配り等をさせていただきました。大会終了後は、縁の下の力持ちを發揮すべく、会場後片付けから荷物運びを行い、無事青年部会としての役目を果たす事ができました。

またこのような大きな大会のお手伝いを通して、青年部員一人ひとりが貴重な何かを得られた大会となりました。

木屋瀬保育園 鷺峰康尚

【青年部会主催「カブラのワークショップ」研修会】

（日程）平成二十四年一月十九日
（場所）レインボープラザ 七階
（講師）アトリエカブラ 代表 富安 智子先生
（内容）カブラのワークショップを通して子どもたち

への関わり、遊びの発展、展開を学ぶ

フランス生まれの木製玩具（ブロック）『カブラ』のワークショップをアトリエカブラより富安智子氏をお招きして開催致しました。

『カブラ』とは選り抜かれたフランス海岸松と計算された仕上げ（基尺1：3：15）によるワンスイズのブロックです。「ねる・たつ・おきる」の基本の置き方だけで積み上げたり、組み合わせたりすることによってどんな形でも表現することができますので「魔法の板」とも呼ばれています。また、それだけでなく水に浮かべたり、きれいな音を楽しんだりと年齢に応じた遊びも展開出来ます。ワークショップでは実践を中心に各々がタワー、お城、かまくら、キリンや恐竜などを夢中になって作成。それを道や線路で繋げて行って研修会場にはさながらひとつの街が出来上がりました。

最後には出来上がったものを、ダルマ落しの要領で一本ずつ抜いていったり、一気にダイナミックに壊したりと各所で大きな歓声がカブラのきれいな木の響きと共に上がっていました。

塔野保育園 金原秀樹



【保育課との勉強会】

（日程）平成二十三年十二月二十日
（場所）北九州市役所 二階二十一会議室

昨年に引き続き保育課との交流を研修会という形で行いました。

当日は北九州市役所にて、それぞれの質問や疑問等を保育課の方と部員が意見交換したりするなど楽しく、普段とは違った雰囲気の中で過ごすことができました。

保育課のみなさん、今後ともよろしくお願ひ致します。

【退会・新入部員の紹介】

平成二十三年度、退会する部員と新しく仲間に加わった新入部員の紹介をさせていただきます。

○退会部員

深川教真先生（竜光保育園）

今後は、青年部会OBとして良きアドバイスをお願いいたします。

○新入部員

仁科博光先生（守恒保育園）

鎌田旭先生（旭ヶ丘保育園）

これから、青年部員の仲間として共に頑張っていきたいと思います！

【青年部会部内研修会】

〈日程〉平成二十四年二月四日

〈場所〉浄光寺 如来堂

〈講師〉北九州市私立保育園連盟 会長 橋原淳信

〈内容〉情勢報告・質疑応答

余寒なお厳しい二月、浄光寺如来堂にて、橋原淳信北九州市私保連会長を講師にお招きし、研修会を開催致しました。

今回は、去る一月三十一日、「子ども・子育て新システム検討会議作業グループ基本制度ワーキンググループ 第二十回会合」にて取りまとめられた内容についての概要と連盟としての今後の方針を説明して頂きました。内容としましては、児童福祉法第二十四条の改正、「直接契約 直接補助」制度に伴う公的責任の後退、省庁の一元化ならぬ三元化、財源となる消費税の問題等、多くの懸念材料があり、連盟としては、これまで

同様このシステムには断固反対していくというものでした。

最後に橋原会長より、「今後の運動については、青年部の行動力（特にそのスピード感）に期待している。」とのお言葉を頂き、部員一同身の引き締まる思いでした。

足原だきしめ保育園 梶原義昭



【全国私立保育園連盟青年会議全国大会 京都大会】

〈日程〉平成二十四年二月一六日～十七日

〈場所〉金剛能楽堂 他

二月十六日～十七日の二日間にわたり京都府で行われた「第三十一回全国私立保育園連盟青年会議 京都大会」に参加しました。

一日目は「金剛能楽堂」でオープニング「金剛流能（高砂）」があり、とても厳肅な気持ちで開会式を迎えました。橋本康宏氏（厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長）による行政報告「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ（案）」を具体的に制度設計などの説明がありました。その後、菅原良次氏（全私保連常務理事）による活動報告で、子ども・子育て新システム基本制度WTとりまとめ（案）の検討すべき課題と、全私保連の理念的方向として、子どもの今と未来へ希望を与える、差別の無い公平・公正な制度を作らないといけないなどの話を語って頂きました。

記念講演では青山繁晴氏（独立総合研究所 代表取締役社長）が、北朝鮮拉致問題や日本の資源問題、福島原子力災害の真実や東日本大震災問題など日本政府の対応について批判的な話をされて、そのような考えもあるのだなと思いました。

二日目、私は第五分科会に参加しました。渡部尚人氏（タキイ種苗株式会社）の講演では「Toile Farm」身近な素材で簡単栽培」をテー

マに野菜の基礎知識について説明がありました。良い苗の選び方から始まり、実際にコンテナを使用して種植えの実演や野菜に適した環境の作り方や整枝・誘引のタイミングやポイント、野菜は朝収穫するのが良いなど具体的に説明がありました。又、プランターやコンテナを使用せずに市販の土袋をそのまま使用して苗を植え、野菜を育てる袋栽培があること、畑が大きなくても子どもたちと一緒に身近な物を使って野菜を栽培する方法があること等話があり、人間にとって欠かせない「食」と「農」の重要性と可能性を知るこの大切さを学びました。

この京都大会に参加し、改めて新システムについてしっかり考えたいと思いました。又、野菜を育てていくうえで基礎知識を再確認することもできたので、新たに知り得た野菜の栽培方法や知識などを子どもたちと一緒に、自園で活かしていきたいと思います。

いちご保育園 如来賢大

〈編集後記〉

この一年は、ここに記すまでもなく激動の一年でありました。この遠い北九州の保育にも多くの大きな影響があり、私たち青年部員も色々なことを考えさせられました。しかしこのことを忘れず、来年度も未来の子どもたちのために、日々研鑽努力していこうと思います。